

# 日本都市学会ニュース NO.61

2025.12.31

発行 日本都市学会 〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地 中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内  
<事務局長>磯部友彦 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

## 会長からのご挨拶

日本都市学会第 72 回大会も成功裏に開催され無事に終了致しました。準備および大会運営にご尽力頂きました九州都市学会の関係者の皆様には、心より御礼申し上げます。また、本年度の学会活動に関しましても、分担事務局を担当して頂く各地域都市学会の関係者の方々のご協力にて、ほぼ順調に学会運営が進んでおります。ただ、『年報 58 号』の刊行が大幅に遅れております。年明け 2 月には刊行の予定ですが、学会誌である年報の刊行は学会活動の柱であります。この点、会員の皆様にご心よりお詫び申し上げます。会員の皆様には、今後とも学会活動へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。  
日本都市学会会長  
山崎 健

## 『日本都市学会年報』Vol. 58 刊行遅延のお詫び

日本都市学会年報 No.58 の発送が遅れております。会員ならびに関係各方面に多大なご迷惑をおかけしております。早急にお届けできるように準備を進めております。なお、年報 No.58 の目次を学会ホームページで公表します。ご利用ください。

## 日本都市学会第 72 回大会 を開催しました

日本都市学会第 72 回大会は、2025 年 11 月 7 日（金）・8 日（土）・9 日（日）に佐賀県、佐賀市、佐賀市教育委員会のご後援のもと、佐賀大学本庄キャンパスで開催されました。

【11 月 7 日（金）】エクスカーションが有馬隆文氏（佐賀大学教授、九州都市学会）のガイドのもと、以下のコースで行われました。

佐賀市中心部 徴古館（集合）⇒佐嘉神社⇒わいわい!!コンテナ 2⇒開運さが恵比須ステーション⇒佐賀市歴史民俗館⇒柳町散策（現地解散）。

当日は天候にも恵まれ、予定通りコースを巡ることができました。参加者は 27 名でした。

【11 月 8 日（土）】研究報告が翌日とあわせ計 39 件行われました。その後、大会シンポジウム「スポーツとまちづくり」が開かれました。

シンポジウムではまず、日本都市学会山崎健会長、九州都市学会石川雄一会長から開会挨拶がございました。続いて、宮城 亮氏（佐賀市スポーツ政策アドバイザー）の基調講演がありました。続いて、白井誠氏（SAGA サンライズパーク（株）SAGA サンシャインフォレスト 事務局長）、山田健一郎氏（佐賀未来創造基金 理事長）、笠原美鈴氏（SpoWell Lab 株式会社 代表取締役 CEO）、角田幸太郎氏（佐賀大学経済学部 教授）をパネリストに迎え、山下宗利氏（放送大学佐賀 SC 所長、九州都市学会）をコーディネーターとするパネルディスカッションが行われました。

シンポジウムの後、2025 年度の日本都市学会賞の授賞式が行われ、学会賞（奥井記念賞）受賞者の伊藤嘉高（ひろたか）氏への賞状の授与が行われ、受賞者からのスピーチがありました。なお今回の授賞式では他の賞の受賞者はありませんでした。

続いて 2025 年度総会が開催されました。

【11 月 9 日（日）】研究報告が前日に引き続き行われました。

本大会には、シンポジウムのみに参加された近隣の非会員も含めて、102 名のご出席をいただきました。皆さまのご協力のお蔭をもちまして、日本都市学会第 72 回大会を無事に開催することができ、関係者ならびに参加者の皆様へ心から感謝申し上げます。

## 日本都市学会第 73 回大会 は徳島市で開催します

第 73 回大会は、2026 年 10 月 23 日（金）～25 日（日）に徳島大学常三島キャンパス（徳島市）にて「水辺に調和した都市リノベーション」をテーマにして開催される予定です。

**2025 年度  
日本都市学会賞等が決まりました**

**日本都市学会賞（奥井記念賞）**

伊藤嘉高氏（東北）『移動する地域社会学：自治・共生・アクターネットワーク理論』知泉書館、2024 年

**選考理由**

本書は、地域に存在するあらゆる存在を等価なアクターとして位置づけ、それらの連関によって社会現象が生み出されるとするアクターネットワーク理論（ANT）の視点から、地域社会の多様な動態を「移動する地域社会」として捉えている。第I部では、著者が従来取り組んできた創発の社会学からアクターネットワーク理論への転換を起点とし、記述の社会学の意義や生活史研究との接合を整理することで、ANT の社会学的意義を体系的に明らかにしている。続く第II部では、日本およびアジア各地でのフィールドワークを通じて、地域社会を ANT によって分析することの意義を具体的に論じている。これにより、理論的枠組みを実践のなかで展開させる意欲的試みが示されている。

選考委員会においては、本書は、こうした新しい理論的視座と丹念な実践に基づく分析を統合していく労作であることが評価された。なお、都市研究という学際的領域において、より広範な読者に理解されやすい表現が求められること、ならびに ANT を用いたからこそ導き得る結論が期待されていることを付記しておく。

以上の議論を踏まえ、都市に関する独創的な研究・調査であること、都市研究の進歩・発展のための意義が認められることから、日本都市学会賞（奥井記念賞）の受賞に相応しいと判断した。

**日本都市学会論文賞**

該当なし

**2025 年度総会報告  
2025.11.8**

2025 年度日本都市学会総会は、2025 年 11 月 8 日（土）17：30 から 18：00 まで、佐賀大学本庄キャンパスにて開催されました。総会参加者数は 39 名でした。石川雄一九州都市学会会長を議長に選任して、以下の議案 1～5 が審議され、いずれも原案通り可決されました。ひき続き 3 件の報告があり、いずれも了承されました。

**議案 1 2024 年度事業報告**

（1）日本都市学会第 71 回大会の開催  
開催日時 2024 年 10 月 25 日（金）～27 日（日）  
開催学会 日本都市学会・東北都市学会  
開催都市 宮城県石巻市  
開催テーマ「災害と文明—Reborn と希望—」

（2）日本都市学会年報の発行  
VOL.57「データにもとづいた都市政策の形成：誰のウェルビーイングを目指すのか」  
（2024 年 5 月発行）

（3）論文審査委員会  
研究発表会終了後、論文審査作業の開始

（4）日本都市学会賞の選定  
2024 年 3 月 15 日 外国語著作賞推薦等締め切り  
2024 年 4 月末日 奥井賞・特別賞（学術共同賞）・特別賞（まちづくり賞）締切  
2024 年 9 月 選考委員会開催、第 2 回理事会において決定  
2024 年 10 月 26 日（土）大会において授賞式

（5）日本都市学会総会の開催  
2024 年 10 月 26 日（土）

（6）理事会の開催  
第 1 回理事会（2024 年 6 月 30 日）  
2023 年度事業報告・決算案、2023 年度事業計画・予算案、第 71・72 回大会予定、各事務局からの報告他  
第 2 回理事会（2024 年 9 月 29 日）  
2024 年度学会賞・論文賞等の決定、第 71 回大会予定、各事務局からの報告、会長候補者推薦他  
第 3 回理事会（2024 年 10 月 25 日）  
総会提出議案の決定、第 71 回大会直前確認事項、第 72 回大会予定、各事務局からの報告他  
第 4 回理事会（2025 年 3 月 30 日）  
2024 年度事業報告・決算見込み、2025 年度事業計画・予算案等、第 71 回大会報告、第 72 回大会予定、各事務局からの報告他

（7）日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス  
日本都市学会ニュース No.58 2024 年 7 月  
日本都市学会ニュース No.59 2025 年 3 月

**議案 2 2024 年度決算**

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

収入の部 (2024 年度) (円)

科 目	予算	決算
学 会 会 費 ( 当 該 年 度 分 )	1,666,000	1,594,600
学 会 会 費 ( 過 年 度 分 )	23,800	23,800
年 報 売 上 等	500,000	521,000
雑 収 入	100,000	67,631
前 年 度 繰 越 金	3,449,338	3,449,338
計	5,739,138	5,656,369

支出の部 (2024 年度) (円)

科 目	予算	決算
大 会 関 係 費	500,000	500,000
理 事 会 関 係 費	400,000	237,634
論 文 審 査 委 員 会 関 係 費	50,000	0
年 報 関 係 費	1,250,000	1,246,905
前年度号 (VOL. 56)	0	0
当該年度号 (VOL. 57)	1,150,000	1,246,905
次年度号 (VOL. 58)	100,000	0
学 会 賞 関 係 費	100,000	75,360
事 務 局 経 費	500,000	311,840
備 品 費	10,000	0
雑 費	60,000	0
予 備 費	2,869,138	0
次 年 度 繰 越	0	3,284,630
合 計	5,739,138	5,656,369

正味資産の部

資産 (2025 年 3 月 31 日現在残高) (円)	
郵便振替口座	1,442,498
三菱UFJ 銀行奈良支店	1,842,132
手持ち現金	0
計	3,284,630

負債なし

**議案 3 2025 年度事業計画**

(1) 日本都市学会第 72 回大会の開催  
開催日時 2025 年 11 月 7 日 (金) ~9 日 (日)  
開催学会 日本都市学会・九州都市学会  
開催都市 佐賀市  
開催テーマ「スポーツとまちづくり」

(2) 日本都市学会年報の発行  
VOL.58「災害と文明—Reboron と希望—」  
(2025 年 5 月発行)

(3) 論文審査委員会  
研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定  
2024 年 12 月 外国語著作賞推薦等締め切り  
2025 年 4 月末日 奥井賞・特別賞 (学術共同賞) ・  
特別賞 (まちづくり賞) 締切

2025 年 9 月 選考委員会開催、第 2 回理事会において決定

2025 年 11 月 8 日 (土) 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催  
2025 年 11 月 8 日 (土)

(6) 理事会の開催  
第 1 回理事会 (2025 年 7 月)  
2024 年度事業報告・決算案、2025 年度事業計画・予算案、第 72・73 回大会予定、各事務局からの報告他  
第 2 回理事会 (2025 年 9 月)  
2025 年度学会賞・論文賞等の決定、第 72 回大会予定、各事務局からの報告、会長候補者推薦他  
第 3 回理事会 (2025 年 11 月)  
総会提出議案の決定、第 72 回大会直前確認事項、第 73 回大会予定、各事務局からの報告他  
第 4 回理事会 (2026 年 3 月)  
2025 年度事業報告・決算見込み、2025 年度事業計画・予算案等、第 72 回大会報告、第 73 回大会予定、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス  
日本都市学会ニュース No.60 2025 年 7 月  
日本都市学会ニュース No.61 2025 年 12 月

(8) 日本都市学会年報の電子公開の検討

**議案 4 2025 年度予算**

(自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日)

収入の部 (2025 年度) (円)

科 目	2024年度予算	2025年度予算
学 会 会 費 ( 当 該 年 度 分 )	1,666,000	1,598,000
学 会 会 費 ( 過 年 度 分 )	23,800	0
年 報 売 上 等	500,000	400,000
雑 収 入	100,000	80,000
前 年 度 繰 越 金	3,449,338	3,284,630
計	5,739,138	5,362,630

支出の部 (2025 年度) (円)

科 目	2024年度予算	2025年度予算
大 会 関 係 費	500,000	500,000
理 事 会 関 係 費	400,000	400,000
論 文 審 査 委 員 会 関 係 費	50,000	50,000
年 報 関 係 費	1,250,000	2,050,000
当該年度号 (VOL. 58)	1,150,000	1,150,000
次年度号 (VOL. 59)	100,000	100,000
J-STAGE対応	0	800,000
学 会 賞 関 係 費	100,000	100,000
事 務 局 経 費	500,000	500,000
備 品 費	10,000	10,000
雑 費	60,000	60,000
予 備 費	2,869,138	1,692,630
合 計	5,739,138	5,362,630

**議案 5 理事の承認**

(2025 年度・2026 年度)

(1) 支部会長理事: 松村茂(東北)、土居洋平(関東)、磯部友彦(中部)、久隆浩(近畿)、豊田哲也(中四国)、石川雄一(九州)

(2) 支部選出理事: 増田聡(東北)、平井太郎(関東)、小山弘美(関東)、井澤知旦(中部)、田中晃代(近畿)、根田克彦(近畿)、北川博史(中四国)、山下宗利(九州)

(3) 会務担当理事: 野村理恵(北海道)、松本行真(東北)、西野淑美(関東)、児玉浩嗣(中部)、阿部亮吾(中部)、佐野光彦(近畿)、川瀬正樹(中四国)、車相龍(九州)

※下線部の理事が今回の承認対象。波下線部は理事の選出区分の変更。

変更になった理事の任期は前任者の残任期間。

**報告 1 2025 年度日本都市学会賞等について****報告 2 日本都市学会第 73 回大会について**

※本紙関連記事をご参照ください。

**報告 3 日本都市学会会員数の状況**

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
北海道	9	7	9	7	7	7	7
東北	65	58	58	48	47	50	52
関東	141	137	132	132	142	140	139
中部	90	87	86	79	81	80	77
近畿	149	139	123	120	111	105	96
中四国	43	47	47	48	47	45	44
九州	67	63	65	62	57	57	54
本部	1	1	1	0	0	0	0
合計	565	539	521	496	492	484	469

2025 年度は 7 月時点

議案および報告に関連して、会員よりつぎの以下 3 点の意見があり、議論がありました。

- ①学会員の増加策、とくに若手会員の増加策について
- ②日本都市学会論文賞が「該当なし」となった件で年齢制限等の基準変更について
- ③年報の電子公開にともなう紙媒体の廃止によって、高齢会員の一部が退会する可能性と、それによる持続可能な学会運営への影響について

**2025 年度第 2 回理事会報告****2025.9.28**

2025 年度第 2 回理事会は、2025 年 9 月 28 日(日) 13 時 30 分から対面(於:名古屋都市センター)と

オンラインで開催されました。出席者は、山崎健会長、井澤知旦、石川雄一、西野淑美、児玉浩嗣、阿部亮吾(以上対面出席)、磯部友彦、松村茂、久隆浩、田中晃代、根田克彦、豊田哲也、川瀬正樹、車相龍(以上オンライン出席)の各理事、および大塚俊幸(オブザーバー、対面出席)です。議事の概要は次の通りです。

**議題 1 2024 年度決算報告ならびに 2005 年度事業計画について**

第 1 回理事会の時点で監査手続きが完了していなかった 2024 年度決算の最終報告が行われました。また、2025 年度の事業計画・予算が承認されました。

**議題 2 学会賞担当事務局からの報告**

学会賞について次の通り決定しました。

選考委員会の審査の結果、次の著作に日本都市学会賞(奥井記念賞)を授与することが決まりました。

◎伊藤嘉高著『移動する地域社会学—自治・共生・アクターネットワーク理論』(知泉書館、2024 年 3 月 10 日発行)

なお、日本都市学会論文賞は該当なしとなりました。それにとまって、39 歳以下の会員による論文が論文賞の審査対象となっている現行の審査基準では、会員の年齢構成の変化もあって、今後対象論文数が減少していくのではないかと懸念が提起され、基準の見直しも必要であるとの意見が共有されました。

**議題 3 年報担当事務局からの報告**

年報事務局(関東都市学会)より日本都市学会の著作権にかかわる現行規定の報告があり、年報第 38 号(2005 年 5 月発行)以降の査読論文については、J-STAGE に掲載しても著作権上の問題は発生しないことが確認されました。ただし、無査読論文やシンポジウム原稿については現行規定に記載がないため、3 月の理事会に向けて改訂案を作成するとの報告がありました。

次に、その年報のバックナンバーを順次 J-STAGE に掲載していく手続きについて説明があり、年報第 47 号以降は印刷業者が PDF を保管していることが確認されているため、まずは予算との関係から年報第 45 号～57 号を優先的に作業していく旨、報告されました。それ以前の号や査読論文以外の原稿の優先順位については、規定改訂も含めて審議継続となりました。

また、年報の印刷部数と年報バックナンバーの保管部数についても提案があり、会員数の減少に合わせて発行部数も現行の 700 部から 600 部に減らすこと、そして在庫の保管部数を各号最大 15 部にすることが承認されました。

**議題 4 論文審査担当事務局からの報告**

論文審査担当事務局(東北都市学会)より、2025

年度の審査日程について、例年と変わらない旨の報告がありました。

#### 議題 5 第 72 回大会について

大会担当事務局（九州都市学会）より、第 72 回大会（2025 年度、佐賀大学）のプログラムが報告され、合わせて一般発表の司会者の提案がなされました。

#### 議題 6 第 73 回大会について

中四国都市学会より、第 73 回大会（2026 年度、徳島大学）の日程候補について報告がありましたが、会場予約の都合上現時点では決定できないため、継続審議となりました。また、大会のテーマが「水辺に調和した都市リノベーション」として提案されました。

### 2025 年度第 3 回理事会報告

2025.11.7

2025 年度第 3 回理事会は、2025 年 11 月 7 日（日）18 時 00 分から対面（於：アバンセ、佐賀県立男女共同参画センター／生涯学習センター）で開催されました。出席者は、山崎健会長、松村茂、増田聡、土居洋平、磯部友彦、井澤知旦、久隆浩、根田克彦、田中晃代、豊田哲也、北川博史、石川雄一、山下宗利、野村理恵、西野淑美、児玉浩嗣、阿部亮吾、川瀬正樹、車相龍の各理事、および監事の野々山和宏です。議事の概要は次の通りです。

#### 議題 1 総会議題の確認

2024 年度決算の承認を行ない、2025 年度総会議題が確認されました。また慣例により、総会議長は大会開催地の石川雄一九州都市学会会長が担当することになりました。

#### 議題 2 学会賞担当事務局からの報告

学会賞担当事務局より、学会賞関係の今後の募集スケジュール等の報告がありました。また、論文賞対象論文の選定基準の改定について、理事からの意見を集約したうえで第 4 回理事会に改定案を提出する旨、承認されました。

#### 議題 3 年報担当事務局からの報告

年報担当事務局（前年度：近畿都市学会）より、年報第 58 号発行の遅延と発刊予定について報告がありました。また関東都市学会より、年報のバックナンバーのデジタル化と電子公開（第 48 号以降の査読付き論文を優先）、ならびに J-STAGE への新規利用申し込み作業の進捗が報告されました。また、第 47 号以前の論文の扱いやデジタル化の優先順位、著作権関連規定の改定案については、理事からの意見を集約したうえで第 4 回理事会に提出する旨、報告されました。

#### 議題 4 論文審査担当事務局からの報告

論文審査担当事務局より、2025 年度の審査スケジュールについて報告がありました。

#### 議題 5 第 72 回大会について

大会担当事務局（九州都市学会）より、第 72 回大会（佐賀大学本庄キャンパス）の現状について報告がありました。

#### 議題 6 第 73 回大会について

次年度の大会担当事務局（中四国都市学会）より、第 73 回大会（徳島大学常三島キャンパス）の準備状況について報告があり、大会テーマを「水辺に調和した都市リノベーション」とし、2026 年 10 月 23～25 日を検討している旨、報告がありました。

#### 議題 7 その他

学会ホームページのリニューアルについて、議論がありました。

### 2026 年度学会賞を募集しています

2026 年度の日本都市学会賞（奥井記念賞）および日本都市学会特別賞（学術共同研究賞、まちづくり賞）の募集が始まっています。学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼が送られていますので、各地域都市学会では、現物 7 部（献本）および推薦理由を添えて所定の期日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。なお、7 部の献本が困難な場合、2 部以上の献本、残りは借用でお願いいたします。

6 月から選考委員の選考作業が開始され、9 月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において授賞が決定されます。

### 学会賞選考委員

#### 奥井記念賞（日本都市学会賞）選考委員

委員長：野村理恵（北海道）

委員：松村茂（東北）、土居洋平（関東）、井澤知旦（中部）、久隆浩（近畿）、豊田哲也（中四国）、石川雄一（九州）

#### 論文賞選考委員

委員長：西野淑美（関東）

委員：田淵義英（東北）、平井太郎（関東）、岡田英幸（中部）、中井郷之（近畿）、川瀬正樹（中四国）、車相龍（九州）

## 論文審査委員

委員長：梶田佳孝（九州、都市交通計画）  
副委員長：長田進（関東、経済地理・都市地理）  
委員：五十嵐泰正（関東、都市社会）  
田中晃代（近畿、都市計画）  
野々山和宏（東北、都市経済）  
竹中克行（中部、経済地理）  
和田真理子（近畿、都市地理）

## 2025 年度日本都市学会役員（12.31 現在）

**会長** 山崎 健（近畿）  
**理事**

【支部会長理事】松村茂（東北）、土居洋平（関東）、磯部友彦（中部）、久隆浩（近畿）、豊田哲也（中四国）、石川雄一（九州）

【支部選出理事】増田聡（東北）、平井太郎（関東）、小山弘美（関東）、井澤知旦（中部）、田中晃代（近畿）、根田克彦（近畿）、北川博史（中四国）、山下宗利（九州）

【会務担当理事】野村理恵（北海道）、松本行真（東北）、西野淑美（関東）、児玉浩嗣（中部）、阿部亮吾（中部）、佐野光彦（近畿）、川瀬正樹（中四国）、車相龍（九州）

**監事** 野々山和宏（東北）、松内紀之（九州）

## 分担事務局

### ■本部事務局（中部都市学会）

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地  
中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内  
事務局長：磯部友彦  
TEL：0568-51-9107／FAX：0568-52-0622  
e-mail：info@toshigaku.org

### ■年報担当事務局（関東都市学会）

e-mail：journal@toshigaku.org  
※お問合せ内容により担当者が違うため、メールでご連絡願います。

### ■学会賞担当事務局（中四国都市学会）

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東 1-1-1  
広島修道大学商学部 川瀬正樹研究室内  
e-mail：office@cs-su.jp

### ■論文審査担当事務局（九州都市学会）

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地  
佐賀大学芸術地域デザイン学部  
有馬・山口研究室気付

TEL：0952-28-8577  
e-mail：ktoshigaku@gmail.com

### ■大会担当事務局（九州都市学会）

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地  
佐賀大学芸術地域デザイン学部  
有馬・山口研究室気付  
TEL：0952-28-8577  
e-mail：ktoshigaku@gmail.com

## 地域都市学会事務局

### ◎北海道都市地域学会

〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1  
札幌大学 平井貴幸研究室内  
TEL：011-852-1181  
e-mail：hirai@sapporo-u.ac.jp

### ◎東北都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C  
近畿大学総合社会学部 松本行真研究室内  
06-6721-2332（内線 3262）  
e-mail matsu@socio.kindai.ac.jp

### ◎関東都市学会

〒370-0801 高崎市上並榎町 1300  
高崎経済大学地域政策学部 米本清研究室内  
e-mail：info@kanto-toshigakkai.com

### ◎中部都市学会

〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地  
中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内  
TEL：0568-51-9107／FAX：0568-52-0622  
e-mail：chubutoshi@fsc.chubu.ac.jp

### ◎近畿都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1  
近畿大学総合社会学部 田中晃代研究室内  
e-mail：info@kintoshio.org

### ◎中四国都市学会

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東 1-1-1  
広島修道大学商学部 川瀬正樹研究室内  
e-mail：office@cs-su.jp

### ◎九州都市学会

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地  
佐賀大学芸術地域デザイン学部  
有馬・山口研究室気付  
TEL：0952-28-8577  
e-mail：ktoshigaku@gmail.com